

授業科目

高齢者看護学実習II

担当教員名 高橋 智美、佐藤 純子、金子 奈未	対象学年	3	対象学科	看護
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	3	時間数	135

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	◎	◎

授業の概要

本科目では、加齢や疾病による健康障害や健康問題を有する高齢者とその家族を受け持ち、対象及びその家族に応じた看護を実践する。

授業の目的

健康障害がある高齢者およびその家族に対して、知識・技術・態度を統合し、残存機能の維持、QOLの向上を目指した看護を実践するための基礎的能力を修得する。

学習目標

1. 対象の身体的・精神的・社会的特徴が説明できる。
2. 対象の健康障害の特徴が説明できる。
3. 対象の健康障害の特徴と日常生活動作を関連付けて説明できる。
4. 健康問題に応じた看護計画が立案できる。
5. 立案した看護計画に基づき、安全・安楽な看護実践ができる。
6. 看護実践の結果から、計画の修正・追加ができる。
7. 看護計画の評価ができる。
8. 対象とその家族を支援する他職種との連携が説明できる。
9. 対象の意思、主体性を尊重した関わりができる。
10. 実習に意欲的に取り組むことができる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1日	実習オリエンテーション	学内で実習病院の特性、受け持ち患者情報の提供を受け、事前学習（演習含む）をする	高橋 智美 他
1週目	受け持ち患者のアセスメント・全体像の把握	実習	高橋 智美 他
2週目	受け持ち患者の健康問題の抽出、初期計画立案、実施	実習	高橋 智美 他
3週目	初期計画の評価・修正、修正計画の立案、実施・評価	実習	高橋 智美 他

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書						
参考書	看護過程を使ったヘンダーソン看護論の実践 第4版	秋葉公子、江崎フサ子、玉木ミヨ子 他	ヌーヴェルヒロカワ	2013年	2,000円+税	
	老年看護学実習ガイド	正木治恵編	照林社	2008年	2,800円+税	
	高齢者のための知的機能検査手引き	大塚俊男、本間昭	ワールドプランニング	1991年	1,457円+税	
	写真で分かる高齢者ケア	東京都長寿医療センター看護部編	インターメディカ	2010年	2,500円+税	
	疾患別看護過程の展開 第4版	関口恵子、山口瑞穂	学研出版	2013年	6,400円+税	
その他の資料						

評価方法

高齢者看護学実習II評価表に基づき評価する。

履修上の留意点

夏期休暇に事前学習を行う。
実習前、実習期間に技術練習を行う。

オフィスアワー・連絡先

【office hour】 平日の8:30～17:00
【研究室】 K413
【e-mail】 tomomi-takahashi@nuhw.ac.jp